

目標達成計画

作成日:平成29年3月23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	個別の記録と実践への反映について、現状の記録は不十分な点もあり介護計画に沿った具体的な記録が必要である。	介護計画に沿った具体的な記録を行い今後の実践や介護計画の見直しに活かせる。	・介護職員に記録の重要性を説明し認識してもらう ・介護計画に沿った記録内容の具体例を作成する	6ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援について、看取りの支援は経験しているが、方針についてはもっと詳細な部分まで共有できれば良い。	看取りの指針を再確認し改めて介護職員全体に周知させて、きめ細かい看取り支援が実践できる。	・看取り支援の指針の明確化 ・看取りについての内部研修を行う	12ヶ月
3	49	日常的な外出支援について、ある程度は利用者の希望に合わせた外出ができているが、外出の頻度が少し減り、ホームから促しをして参加される外出が多くなってきた。	利用者個々の希望する外出先や、普段行けない場所などに外出できる。	・写真付きの外出先リストを作成する ・利用者一人ひとりに聞き取りを行い希望する外出先を把握する ・利用者家族にも聞き取りを行う	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。